



# 新水槽付消防ポンプ自動車3月15日から運用開始



水槽付消防ポンプ自動車音威子府タンク1

音威子府消防支署では本年3月15日から、新消防車の運用を開始します。

今回導入した水槽付消防ポンプ自動車は、これまでの消防車に比べ、大量の水を積載し、圧縮空気泡消火装置（キャフス）の導入により消火能力が増したことにより、いかなる火災にも威力を発揮します。

また、緊急消防援助隊派遣にも対応できるよう高度な消火・救助資機材も装備されています。

### 【SPECIFICATIONS】

HINO 2PG-F91A

全長：9,300 全幅：2,490 全高：3,300 単位mm

車両重量：20,600kg 乗車定員：6名

総排気量：8,870L 水槽容量：6,000L

## 新水槽付消防ポンプ自動車に積載する資機材を一部紹介



### 圧縮空気泡消火装置（キャフス）

→ユニット内で水と泡薬剤を混合した泡溶液に圧縮空気を注入し、泡を生成します。圧倒的な消火力を発揮し、水損、ホースの操作性、冷却能力、圧力損失、射程距離等従来の泡放射と比べ、画期的な進化を遂げています。

### 電動油圧救助器具（ルーカス e ドローリック）

→電源 ON ですぐに始動ができ、油圧ホース・パワーユニット（エンジン）がないため活動性に優れております。

左から：ラムシリンダー・スプレッター・カッター



### 救助用送風機（ラムファン・パワーストリーム）

→消火作業を行う前に機械的に陽圧換気を行い、活動隊員と要救助者の視界を作り、室内の温度を下げるほか可燃性有毒ガスや煙を除去し、消火・救助活動を有利な条件にするための屋内戦術を可能とします。



# 音威子府消防支署

